

## 水問題に関する協議会・第12回幹事会の概要

水問題に関する協議会第12回幹事会の会議結果は、次のとおりです。

1 日時 平成29年2月3日（金）午前10時30分から午前11時30分まで

2 場所 リジェール松山7階「ゴールドホール」

### 3 会議の概要

松山市、新居浜市、西条市から、各市の水問題の課題などの現状について説明があり、意見交換を行いました。

#### 【松山市の説明】

##### ○「松山市長期的水需給計画」の改訂状況について説明

- ・平成16年2月に策定した計画が目標年次を迎え、これまでの節水型都市づくりの推進に加え、この10年間で顕在化してきた新たな課題への対応などを考慮し、改訂を行う予定。
- ・改訂に当たっての基本方針は、従来から進める節水型都市づくりは堅持し、節水の推進、水資源の有効利用、水資源の保全に努め、それでもなお不足する水量について、新たな水資源を確保するという基本スタンスに変更はない。
- ・今回の改訂においては、3階直結給水の導入や未給水地域への給水という「給水サービスの確保」と、ゲリラ豪雨など気象変動や大規模災害などの将来的な社会リスクや安全性に関する課題への対応を考えている。
- ・改訂後の計画目標年次（平成37年度）の水需要量は18万 $\text{m}^3$ で、人口減少、未給水地域の統合や3階直結給水の導入を考慮した1日最大給水量は17万1千 $\text{m}^3$ 、将来的な社会リスクや都市の安全性を考慮した必要給水量は9千 $\text{m}^3$ としている。
- ・また、供給可能水量は、渇水があった平成14年以降、この年を超える渇水が発生していないことから、平成14年に供給ができた14万 $\text{m}^3$ を供給可能水量とした。
- ・これらにより、松山市として確保すべき水量は、水需要量と供給可能水量の差である4万 $\text{m}^3$ となった。

#### 【新居浜市の説明】

##### ○現在の状況について説明

- ・特段の変更なし。

#### 【西条市の説明】

##### ○西条市から「地下水保全管理計画案」の見直しについて説明

- ・計画案は、受益者負担を見直す方向で考えている。
- ・今後のスケジュールは、見直し後の計画を、早ければ29年6月市議会で報告する予定。

- ・西条市としては、従来どおり、地下水の保全のためには、加茂川・黒瀬ダムの水を有効に活用することが重要な課題と考えており、今後も、そのスタンスで、この協議に参加したい。

### 【主な意見交換の内容】

#### ①3階直結給水の導入について

(新居浜市) 新居浜市では、3階直結給水をはじめ、概ね5階までの建築物を対象とした直結増圧給水に取り組んでおり、直結給水は水圧が必要などの一定の制約があると考えますが、対象となる建築物や地域を教えてください。

(松山市) 対象となる建築物は、3階以上の建築物が約7,300棟、給水戸数としては約7万8千戸ある。

対象となる地域は、低層階は現在抑制している水圧の緩和、中高層建築物や高台地区は直結増圧給水を基本とした対応により、市内全体を対象にしていきたいと考えている。

#### ②新たに必要とする水量が4万 $\text{m}^3$ に減少した主な理由について

(県) 新たに必要とする水量が4万8千 $\text{m}^3$ から4万 $\text{m}^3$ に減少した主な理由について説明してほしい。

(松山市) 減少した主な理由として、給水人口が51万8千人から49万3千人となり約2万5千人減少、一人当たりの水使用量が310 $\text{リットル}$ から302 $\text{リットル}$ と約8 $\text{リットル}$ 減少したことが挙げられる。

#### ③減少要因と増加要因の詳細について

(県) 主に「人口減少」と「節水」による減少要因はわかったが、増加要因はないのか。

(松山市) 一人当たりの水使用量は、節水機器の普及などにあわせ減少傾向を見込むものの、天候に左右されるなど、その途中には増加した年もあり、一概に言えない部分もあり、それを加味したうえで全体で302 $\text{リットル}$ と予測している。

#### ④「西条市地下水保全管理計画案」の見直しの方向性について

(県) 「地下水保全管理計画(案)」の見直しの方向性として、財源確保策として検討することとしていた受益者負担の部分のほかにもあるのか。

(西条市) 見直しの主な内容は、「費用負担のあり方」の部分となる。なお、この際、その他も再検討する箇所がないかどうかの検討はする。

### 【会議の結果】

加茂川及び黒瀬ダムの水資源の有効利用を図るという方向性については、西条、新居浜、松山3市の基本スタンスに変更がないことを確認した。今後の幹事会では、引き続き、西条市の水問題を最優先の議題とし、西条市から「地下水保全管理計画」最終案について報告を受け、西条市の地下水問題について協議することとした。